

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	社会科学	科目名	技術者のための現代国際事情					科目コード	SL501A1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	本間 流星	履修グループ	選択					授業方法	講義	
実務経験の内容										
学習一般目標	<p>マスメディアでは日々、様々な国際問題が報道されている。その中には、世界各地の宗教や文化の基礎知識を有していなければ、十分に理解できないものがある。本講義では、現代国際事情を理解するのに必要な基礎知識を学ぶことを主眼としている。また、自らが関心のあるテーマについて発表する機会を設けることで、表現力を伸ばすことを目標としている。</p>									
授業の概要および学習上の助言	<p>種々の宗教や文化についての基礎知識から、それらを分析する方法に至るまで、様々な分野について講義を行う。この講義では、テーマに関係する質問や発言は高く評価される。また、授業内での意見交換を通じて、広範な分野の理解を深めるとともに、他者の考えを尊重することの重要性を学ぶ。それゆえ、積極的な参加(出席)を期待する。</p>									
教科書および参考書	特に指定しないが、必要に応じて参考文献等を紹介する。									
履修に必要な予備知識や技能	特になし。									
使用機器	特になし。									
使用ソフト	特になし。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	現代国際事情の基礎知識を習得し、国際社会の実像が理解できる。								
	2/4	Wordを用いて、様々な意見をまとめることができる。								
	3/5	授業に積極的に参加(出席)し、意欲的に発言することができる。								
	2	自分の意見を論理的に説明し、主張できる。								
	2/3	自分と異なる主張を聞き入れ理解し、意見の交換をすることができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解				10				10
		2.思考・判断				10				10
		3.態度							40	40
		4.技能・表現				10				10
		5.関心・意欲				10			20	30
	総合評価割合					40			60	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験										

小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	講義では、各人が自身の関心のある問題について発表する時間を設ける。ここでの発表成果は成績評価の4割を占める。発表の方法、文章の作成方法などは事前に教授する。
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席及び受講態度を重視する。これらは成績評価の6割を占める。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション (授業内容の説明や成績評価の基準などについて案内する。)	講義	特になし。
第2回	概論 (国際事情や異文化を理解するための基礎知識を学ぶ。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第3回	世界の諸宗教 (世界各地の諸宗教についての基礎知識を学ぶことで、現代国際事情を理解するための土台を作る。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第4回	宗教と生活文化① (世界各地の宗教とその地域に根差す生活文化について学ぶ。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第5回	宗教と生活文化② (第4回に引き続き、世界各地の宗教と生活文化について学ぶ。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第6回	発表①	発表、講義	報告者は準備を要する。
第7回	発表②	発表、講義	報告者は準備を要する。
第8回	発表③	発表、講義	報告者は準備を要する。
第9回	異文化の捉え方① (宗教に関連する様々な思想や運動を取り上げることで、異文化理解のための視座を学ぶ。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第10回	異文化の捉え方② (第9回に引き続き、宗教に関連する様々な思想や運動を取り上げることで、異文化理解のための視座を学ぶ。)	講義	必要に応じて授業中に提示する。
第11回	発表④	発表、講義	報告者は準備を要する。
第12回	発表⑤	講義、発表	報告者は準備を要する。
第13回	まとめ (これまでの講義内容を振り返り、現代国際事情を理解し、考えるための基礎知識と方法についてまとめ、それらの定着を図る。)	講義	特になし。
第14回	課題解決型授業①	遠隔授業	
第15回	課題解決型授業②	遠隔授業	